

競技上の注意

県サッカー協会審判委員会

1. 本大会は、2021/22（公財）日本サッカー協会競技規則により行う。
2. 競技規則を遵守し、フェアプレー・リスペクトの精神のもとプレーする。
3. プレーに関する事実についての主審の決定は最終である。
4. 審判員を批判、誹謗、または中傷しないこと。
5. 時間厳守（特に後半開始）。ハーフタイムのインターバルについては、前半終了のホイッスルから後半開始のホイッスルの間を10分とする。また、ゲーム中の悪質な時間稼ぎをしない。
6. ユニフォームについて
 - ① ユニフォームは必ず正副2着（シャツ2枚・ショーツ2枚・ソックス2本）を、試合会場まで持参する。試合に使用するユニフォームの色を両チームで確認し決めておくこと。両チームで決めかねる場合は主審、または本部役員のトスによって決定する。準決勝よりマッチコーディネーションミーティングにより決定する。
 - ② アンダーシャツを着用する場合、その袖の主たる色はシャツの袖の主たる色と同じでなければならない。アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のもの。試合中に競技者の着用違反が発見された場合、そのアンダーシャツまたはショーツを正すためフィールドから出るよう指示される。審判員による点検後にフィールドへの復帰が認められる。
 - ③ ソックス上にテープまたは同様な材質のものを外部に着用する場合、着用する部分のソックスの色と同じでなければならない。ソックスと異色のアングルサポーターについては、内部に着用すること。
 - ④ ヘッドギアを着用する場合、黒またはシャツの主たる色と同じでなければならない（同一チームは同色）。
7. 選手交代について
 - ① 交代要員は指定の交代用紙をもって、第4の審判員席(本部席)へ行き、用具等の点検・氏名の確認を受けた後、第4の審判員または役員の指示に従って交代すること。なお、退く選手は近くのゴールラインもしくはタッチラインからできるだけ早く退場し、入場する交代要員は、ハーフウェイラインより主審の許可を得て入場すること。
 - ② 交代は、交代する選手が出て交代要員がフィールド内に入ったときに完了する。したがって、その前までであれば交代を延期・中止し、退く選手や交代要員の変更は可能である。
8. ベンチからのコーチ、テクニカルエリアの使用について
 - ① ベンチに入ることができるのは競技会規定に定められた人数（交代要員9人・スタッフ6人・登録外選手10人：計25人）で、試合開始前に氏名の届けられた者に限る。登録外選手10人についても懲戒罰対象となる。
 - ② 本大会ではテクニカルエリアを設ける。その都度1名の役員のみが選手への戦術的な指示を与えることができる。
 - ③ 退場を命ぜられた競技者は、フィールド及びフィールド周辺から離れなければならない。
 - ④ 交代要員についてはテクニカルエリアにとどまるか、ウォーミングアップを行うか明確にする。
 - ⑤ 監督及びその他エリアに入る者は、責任ある態度で行動しなければならない。

9. 負傷者の処置について

- ① 競技者が重傷を負っていると主審が判断した場合、2名以内のドクター等のチーム役員の入場を認める。主審はドクター等の意見も参考にし、必要であれば担架を要請する。担架は主審の合図を受けてからフィールドに入る。
- ② ドクター等が入場した場合、フィールド内での治療は認められず、競技者はフィールド外に退出する。退出を拒んだ競技者は警告される。ドクター等がピッチ内に入る目的は、治療するためでなく、ゲーム続行可能か不可能かの判断をするためである。
- ③【例外】ゴールキーパーが負傷したとき、ゴールキーパーはフィールド内で治療を受けられる。また、同じチームの競技者が衝突し即座の対応が必要なときは、フィールド内で治療を受けられる。治療終了後、フィールド外に退出する必要はない。フィールドプレーヤーであっても、重篤な重傷を負った場合、フィールド内で治療を受けられる。警告・退場となる反則により負傷した際、負傷の程度の判断と治療がすばやく完了し速やかに復帰できる場合。

10. 競技者の用具（装身具）について

- ① 装身具の着用は認められない。
- ② 装身具をテープで覆うことは認められない。
- ③ 試合中に装身具着用が発見された場合、その装身具を外すためフィールドから出るよう指示される。競技者が拒んだ場合や再び身に付けていることが確認された場合は、警告される。審判員による点検後に復帰が認められる。

11. ペナルティーマークからのキックについて

- ① ペナルティーマークからのキックにより勝敗を決定する際、選手はピッチ内から出ることは出来ない。自軍ベンチ前のピッチ内で1分間程度の休憩が与えられ、その時間に飲水及び監督の指示を受ける。
- ② ゴールキーピングが得意なF PにG Kを務めさせるなど戦術的理由でG KとF Pが交代する場合、F Pは他の競技者や審判員と区別された色で、その競技者の番号が表示された服装を着用しG Kとなる。例外として、G Kの負傷退場などにより緊急的にF PがG Kに替わる場合については、他の競技者等と区別する色の服装であるならば、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない（通常の試合時間内および延長戦も同様）。

12. アンダーシャツのスローガン等の表示について

- ① 競技者はスローガンや広告のついているアンダーシャツを見せてはならない。基本的な用具には、政治的・宗教的または個人的なメッセージを表示してはならない。競技者及びそのチームは、主催側より厳しく罰せられる。

13. チーム役員による電子通信機器の使用について

- ① ベンチにおけるチーム役員による電子通信機器の使用は認められる。ただし撮影においてはいかなる場合においても認められない。

14. ジャージ（シャツ）の裾出しについて

- ① 2012年2月付の通達により、「シャツの裾をパンツの中に入れてプレーしなければならない」という規定が廃止になった。これにより、審判員は原則、競技者がシャツの裾を入れるよう指示することはない。ただし、シャツを出す出さないにかかわらず、ユニフォームは、安全で見苦しくないマナーある着用が求められる。

試合開始、後半開始、選手交代、PK戦等において、チームでの指導をお願いします。